

単位数	教科担当者	使用教科書・補助教材・その他
2	高橋 幸一 小林 優子	精選現代文B (筑摩書房)
必修 ○学校必修 必修選択 自由選択		ちくま評論選 改訂版 (筑摩書房) 常用国語便覧 (浜島書店) 共通テスト+センター試験国語過去問題 総合版 (尚文出版) WINSTEP現代文3 (ラーズ) 共通テスト対策実力養成 (ラーズ) ほか

## ◆学習の目標

- ・近代以降の様々な文章を読む能力を増進する。
- ・様々な文章を読解することにより、ものの見方、感じ方、考え方を深める。
- ・自主的な読書活動やその感想・意見を表現することによって、人生を豊かにする態度を育てる。

## ◆主な学習内容・方法

- (1) 論理的な文章について、論理の展開や要旨を的確に捉える。
- (2) 文学的な文章について、人物、情景、心情などを的確に捉え、表現を味わう。
- (3) 様々な文章を読むことを通して、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりして、それを自分の言葉で表現し、記述していく。
- (4) 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞など表現上の特色を捉え、それらを自分の表現、記述方法に生かしていく。

## ◆到達目標と評価の観点

- 〔標準〕・文章の構成を捉え、論理の展開や要旨を的確に捉える。
- ・人物、情景、心情などを的確に読み取る。
  - ・文体や修辞など表現上の特色を的確に理解する。
  - ・現代文の重要語（語句や用法）を的確に理解する。
- 〔応用〕・文章から得た知識や思想や感動などを通し、自分の生き方について考えそれを記述する。
- ・自分の見解を記述できる表現力を身に付ける。
- 〔評価の観点〕
- ・予習復習、授業中の取組み姿勢を重視する。

## ◆評価の方法

- ・年5回の定期考査のほかに、授業中の確認テスト、質疑応答、提出物、出席状況などから、総合的に判断する。

## ◆年間予定授業時間

予定時数	70 時間	1学期 (26 時間)	2学期 (28 時間)	3学期 (16 時間)
------	-------	-------------	-------------	-------------

◆学習のしかた（予習・復習・宿題・課題・その他）

**予習**①教科書を丁寧に読む。②分からない語句などは脚注や辞書で調べておく。③内容の把握、要旨、主題の確認を柱に、学習の要点をあらかじめ自分で考える。⑤**授業**に集中し、理解を深め、疑問点を解決する。⑥そのつど必要に応じて**復習**する。⑦必ず教科書・ノート・確認テスト・副教材等を読み直して確認し、定期考査を受験する。

◆授業計画 各クラスの生徒の実態に合わせ、教材の順序や時数を変更する場合がある。

学期	月	単元・教材等	時間	学習の内容	学習到達目標
1	4	評論1 「近代の成立—遠近法」	6	・「遠近法」と、「視る主体の誕生」の関係について理解する。近代の特徴としての「主／客図式」を理解し、近代～現代社会のあり方について視野を広げる。	・論理的な文章を読んで、筆者の考えやその展開の仕方などを理解できること。
	5				
	6	小説1 「舞姫」	1 2	・明治期の文語体の作品を読み、描かれた場面、作中人物の言動、心情などを的確に捉える。	・明治時代を背景にした作品人物の印象を通して、人間の生き方や考え方についての理解を深められること。
		記述問題演習	8	・大学過去入試問題の演習を行い、実際の入試で有効な問題解答力を付ける。	・文章全体を把握する「読解力」と主題や主旨をまとめる「記述力」を付ける。
	7				
2	8	評論2 「ことばへの問い」	6	・筆者の論理展開を踏まえ、「言語」について考察し、自分の考えを整理する。	・丁寧な読解や解釈を通して、社会問題を地球的な規模で捉えることができる。
	9	評論3 「無常ということ」	8	・古典によって現代の感覚や考え方を捉え直す筆者の発想を学ぶ。	・実際に引用された古典や、鷗外の史伝、歴史・哲学や、時間論について書かれた文章、筆者の別の文章などを併せ読み、ものの見方・考え方を深める。
	10				・論理の展開と筆者の意見を理解した上で、自分の考えを筋道立てて整理する。
	11				・文章全体を把握する「読解力」と主題や主旨をまとめる「記述力」を付ける。
	12	大学入試過去問題演習	1 4	・大学過去入試問題の演習を行い、実際の入試で有効な問題解答力を付ける。	
3	1	大学入試過去問題演習 直前演習	1 6	・大学入試過去問題の演習を行い、実際の入試で有効な問題解答力を高める。	・評論を読解し、論理の展開や要旨を的確に把握する力を付ける。
	2				
	3				